

夢がある！ワクワクする学びの教科書

昔の大坂と 大正区ができるまで

0. はじめに
1. 昔の大坂
 - 1.1.河内湾
 - 1.2.河内湖
 - 1.3.難波八十島
 - 1.4.現代（参考）
2. 島について
3. 大正区ができるまで
姫島～勘助島・新田開発・埋め立て
4. 参考文献・引用

2023年4月28日 第1.2版
作成：地元ナヒ.com

0. はじめに

大阪市大正区がどのようにできたのか。姫島から始まり現在の大正区になるまでを中心にインターネットで調査した結果を出来るだけわかりやすくまとめたつもりです。

本資料作成にあたっては、多くの古地図や文献を探して参照しました。どのように変化していったのかということをもビジュアル的に整理したかったこともあり、パソコン上で現在の大正区地図に古地図データを重ね、位置合わせやサイズ調整を行いました。それをもとにトレーシングペーパーで島の輪郭を書き出し再度パソコンに取り込むことで資料を作成しております。

なお古地図など時代が古いデータに関しては数が少ないこと。また精度もどの程度信じられるのかという疑問もありましたので一部の資料は私の個人的な解釈を含んでいるということもご理解ください。

最後に調査対象は大正区の成り立ちではあったのですが、大正区に限定せず他区の区役所資料や、場合によっては京都などの大学ホームページ、多くの図書館のデジタルアーカイブなども確認しながらすすめました。調査対象エリアだけを調べていても見つからなかった資料が近隣の地域などの資料から見つかることもあります。皆様も調べ毎がある場合にはこれらのことを思い出してください。

2023年3月27日

地元ナビ.com 御手洗賢秀

1. 昔の大坂

大正区の成り立ちを確認する前にその前提となる大坂がどのように形成されたのか、
そこも重要な要素だと考え当初は予定していなかった「大阪の歴史」についても
簡単ですが解説をすることにしました。

資料は以下の4枚となっています。

- | |
|--------------|
| (1) 河内湾の時代 |
| (2) 河内湖の時代 |
| (3) 難波八十島のころ |
| (4) 現代 |

(1)～(3)については調査結果。

(4)については比較のために用意しました。

古代の大阪湾は、大阪平野の奥深くまで入り込み、東は生駒山西麓にいたる広大な河内湾が広がり、上町台地が半島の様に突き出ており現在とは大きく趣の異なる地形であった。

大阪環境データベース

大阪湾の歴史

<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/>

[kankyo-db/intro/](#)

[detail/rekishi/detail_p07.aspx](#)

国土交通省近畿地方整備局

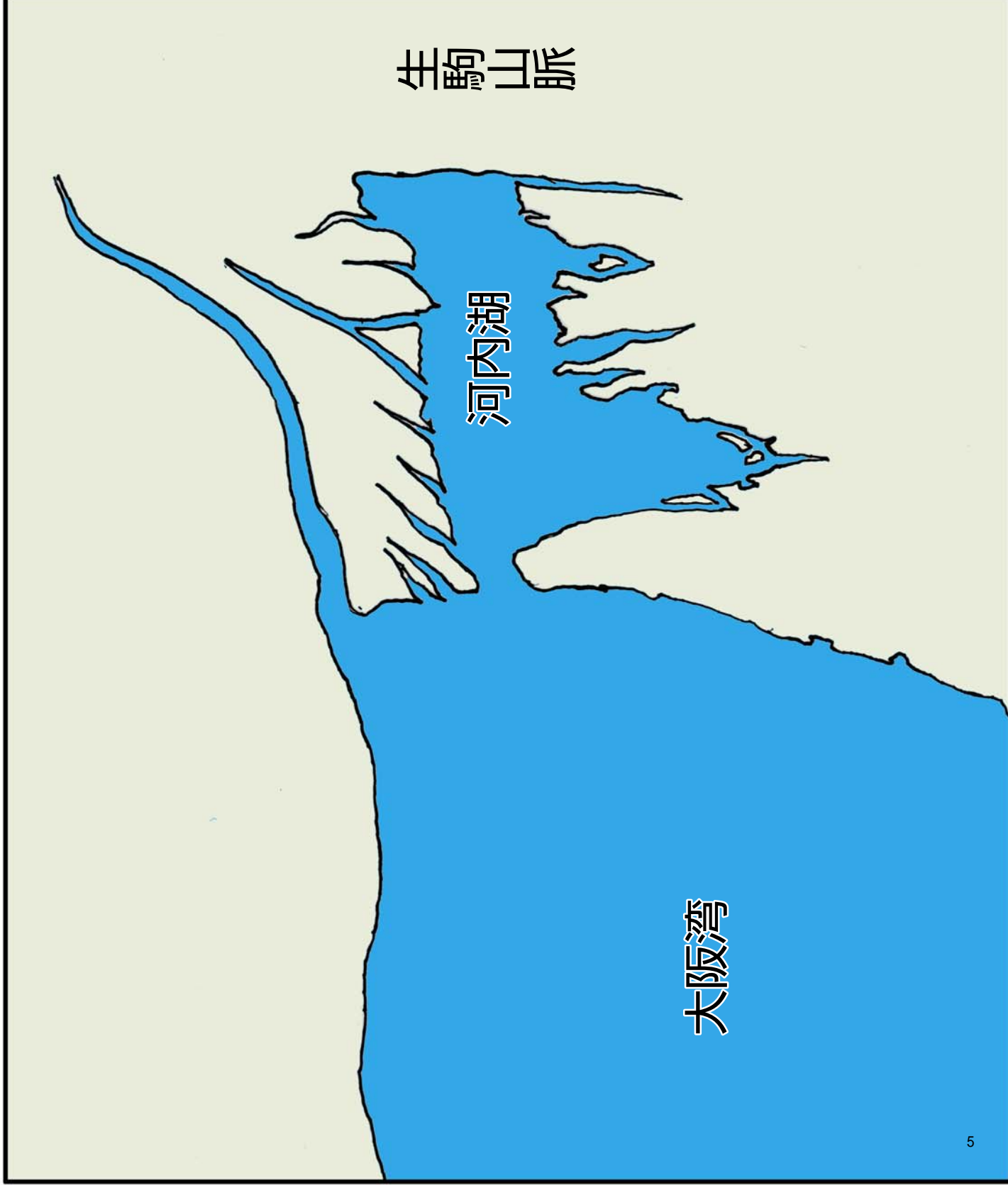


淀川は河内湾の北側を埋め立てていき、大和川も南から陸地を広げていきました。

上町台地の北側の海には、波で吹き寄せられ、淀川により運ばれてきた砂や石ころがたまって河内湾の出口がせまくなったため、河内湾は淡水の河内湖になり、のちに河内潟となります。

大阪陸地の変遷

<https://www.city.osaka.lg.jp/sumiyoshi/cmsfiles/contents/0000078/78996/1-5-2.pdf>
大阪市住吉区



淀川や大和側からの土砂でさらに内陸部の地形は変化。大阪湾が遠浅の海でもあったことから洲（中州）や潟があちこちに出来上がり小さな陸地（島）が生まれていった。

これが難波八十島と呼ばれるまでの経緯ではないかと考えます。

浪華古図

承徳2年（1098年）

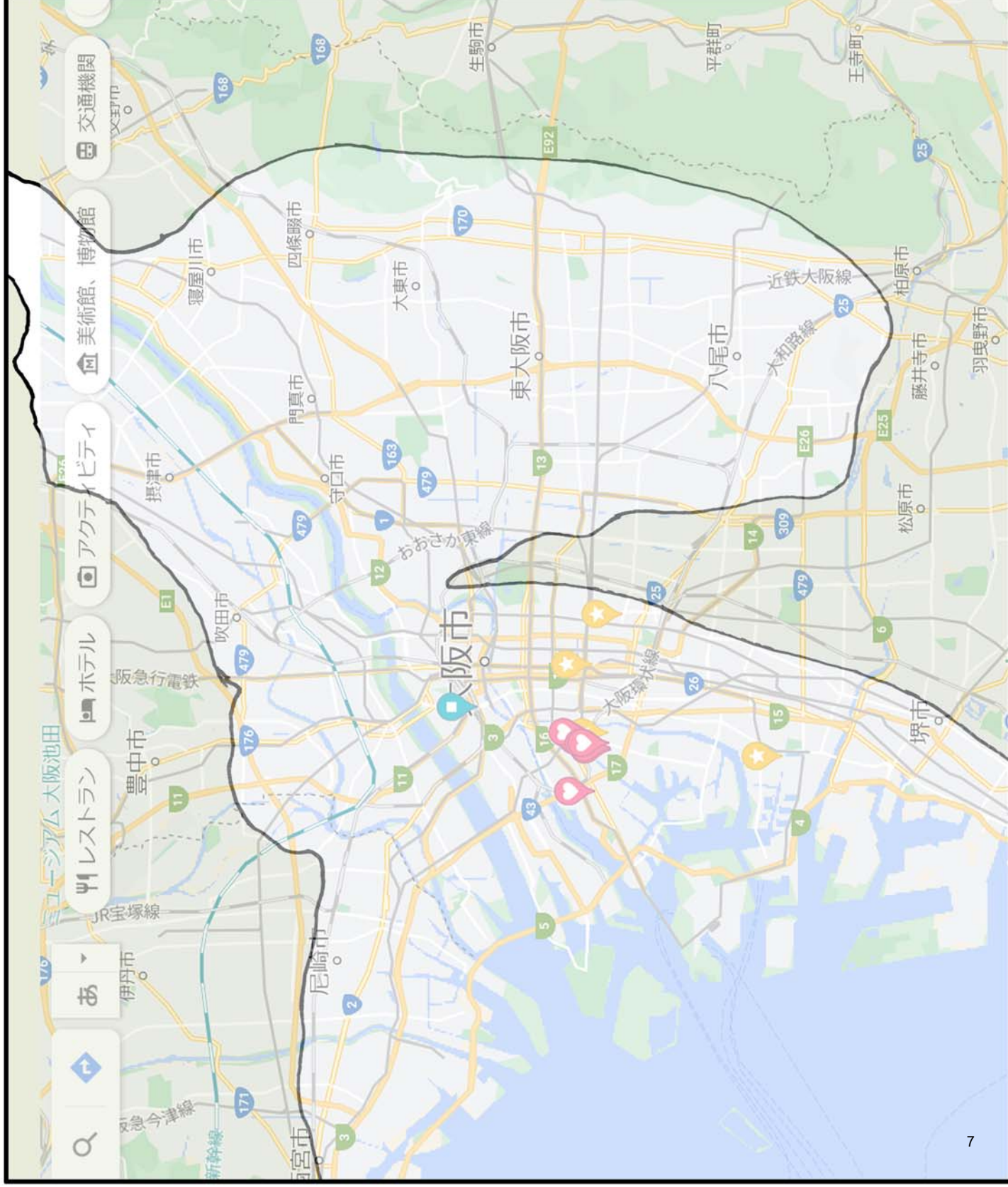
※同様の地図で「浪花古図」等があり模写された経緯なのか漢字が異なる。



資料に出てくる

- ・大阪城
- ・四天王寺
- ・住吉大社

などを基準に現代の
地図を重ねると左の
ような感じになります。

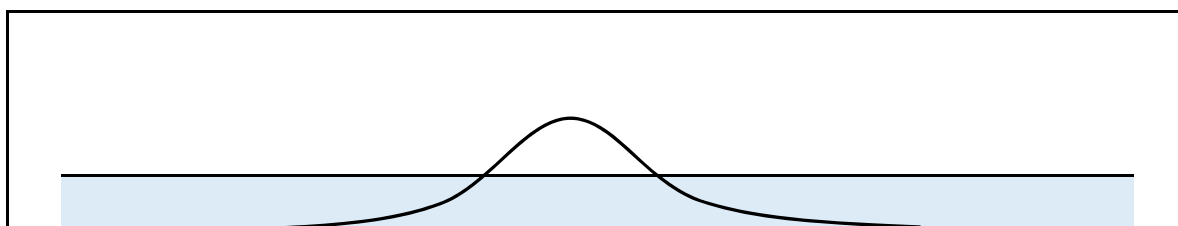


Google Map
<https://www.google.co.jp/maps/>

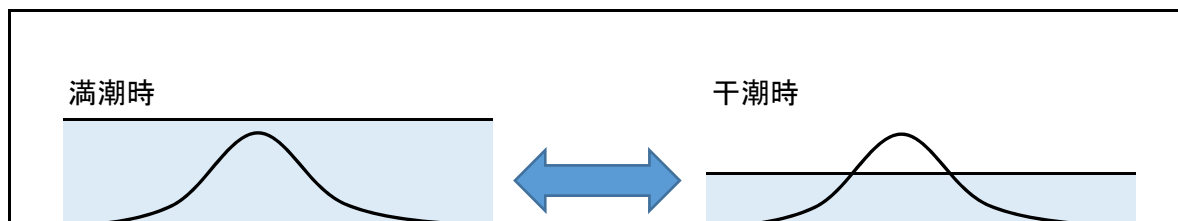
現在の大阪

用語	意味・説明
島	四方を水で囲まれた比較的狭い陸地のこと。
洲	土砂が堆積して陸地ようになり、水面から出ている所。中州。 ※以下に図で説明。
潟	満潮時は水の中、干潮時は水上に出る場所のこと。 ※以下に図で説明。
江	海・湖などの一部分が、陸地に入りこんだところ。入り江。
浦	江と同意語。浦や浜は、湖岸・海岸の集落(漁村・港町)を指す用語でもある。
津	港(船着場)のこと。

洲 …… 川の流れて砂や小石が堆積して陸地となったところ。



潟 …… 干潮のときに陸地が現れるような場所のこと。



3. 大正区ができるまで

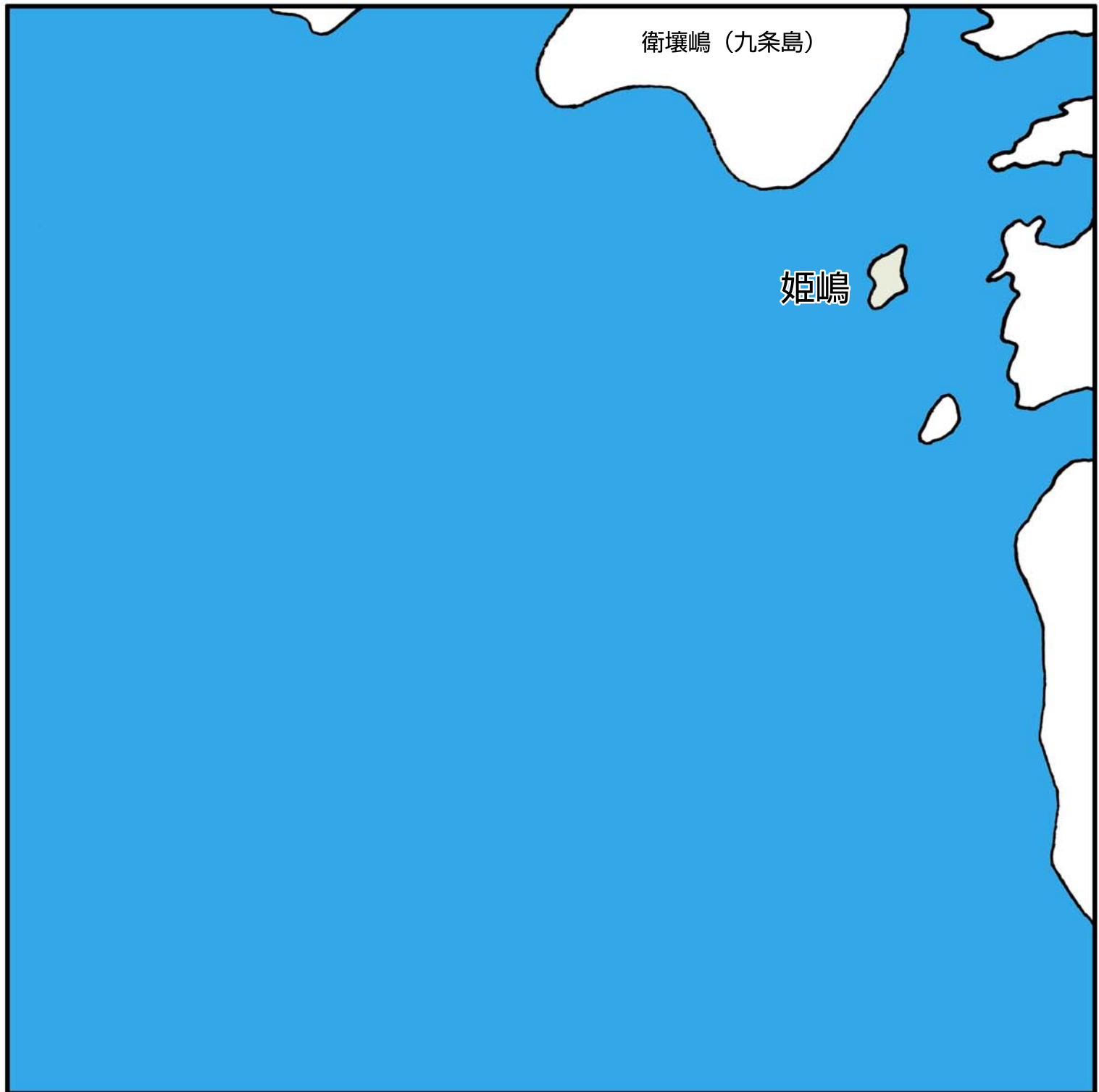
大正区のルーツである姫嶋をインターネットで検索すると西淀川区の姫島が出てきます。地名の姫島は、どうやら2か所あったようです。大正区のことを調べる場合は勘助島で行う方がいろいろな情報が見つかります。

大正区のスタートも、姫嶋(日女島)でしたがそれが勘助島になって大阪三郷→西成郡を経て、西区→港区→大正区という道を歩んでいます。

資料は以下の8枚となっています。

- (1) 地図に姫島が記されたころ
- (2) 勘助島となってから
- (3) 難波島の開削後
- (4) 新田開発の頃①
- (5) 新田開発の頃②
- (6) 埋め立てが行われ、大正運河があったころ
- (7) 現在

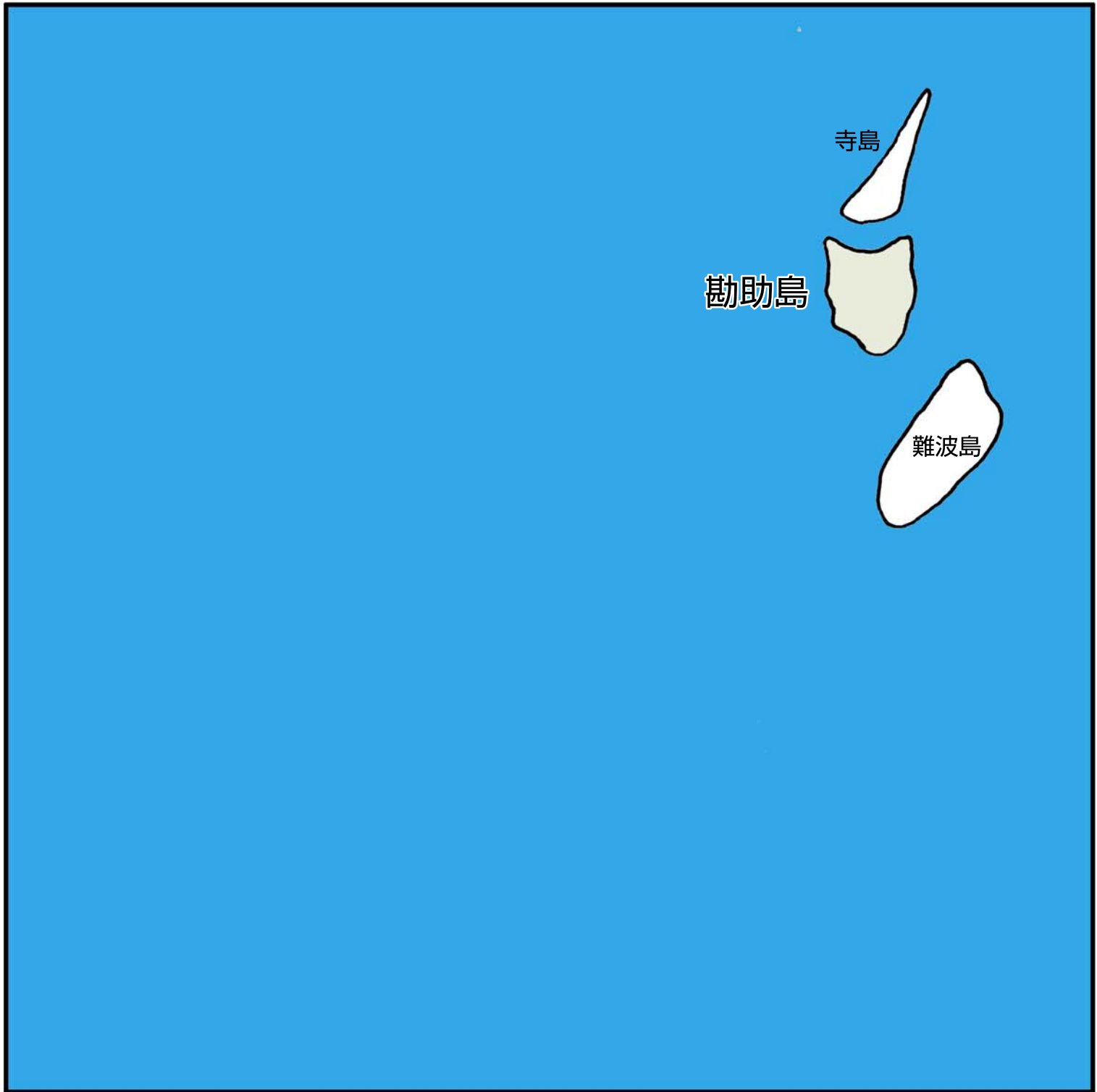
島の形状はどんどん変化していきますが、勘助島の頃から考えるとどんどん南側に拡張されていった経緯が見えます。



姫嶋 (日女島)

1200～1500年頃 (鎌倉時代～室町時代)

浪花古図 承德2年 (1098年) の古地図にはなかった「姫嶋」が、浪華往古図 宝歴6年 (1756年) に現れます。難波八十島と呼ばれ多くの島があちこちに生まれていたころ姫嶋もそのひとつだったのかもしれませんが。西暦1200～1500年頃には島として存在はしていたのではないかと思います。



勘助島

1610～1680年頃（戦国時代～江戸時代）

慶長15年（1610年）中村勘助、木津川尻の姫島に豊臣家の軍船係船所を建設、堤防を築いて田畑を開発。豊臣家より「勘助島」の名が与えられる。

江戸時代初期に人が住み始め3軒の民家が建ったことから三軒家と呼ばれるようになった。



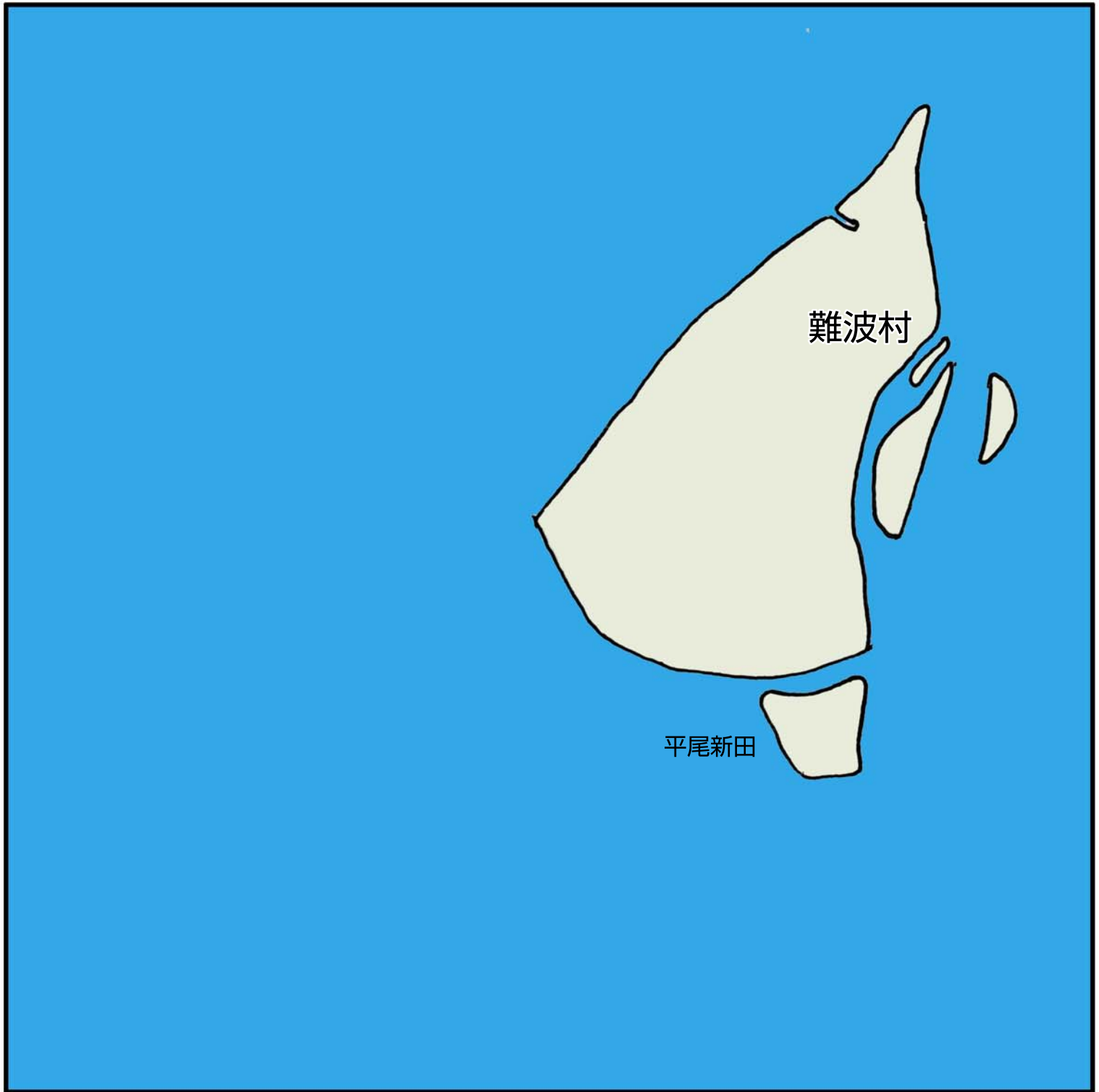
勘助島 (大坂三郷)

1684~1720年頃 (江戸時代)

貞享元年 (1684年) 大坂三郷に編入。

元禄12年 (1699年) 河村瑞賢、難波島を開削工事。木津川の水流を改良し、西側を難波島・東側を月正島と称す。

泉国踞尾村・北村六右衛門、泉尾新田を開発。



難波村 (大坂三郷)

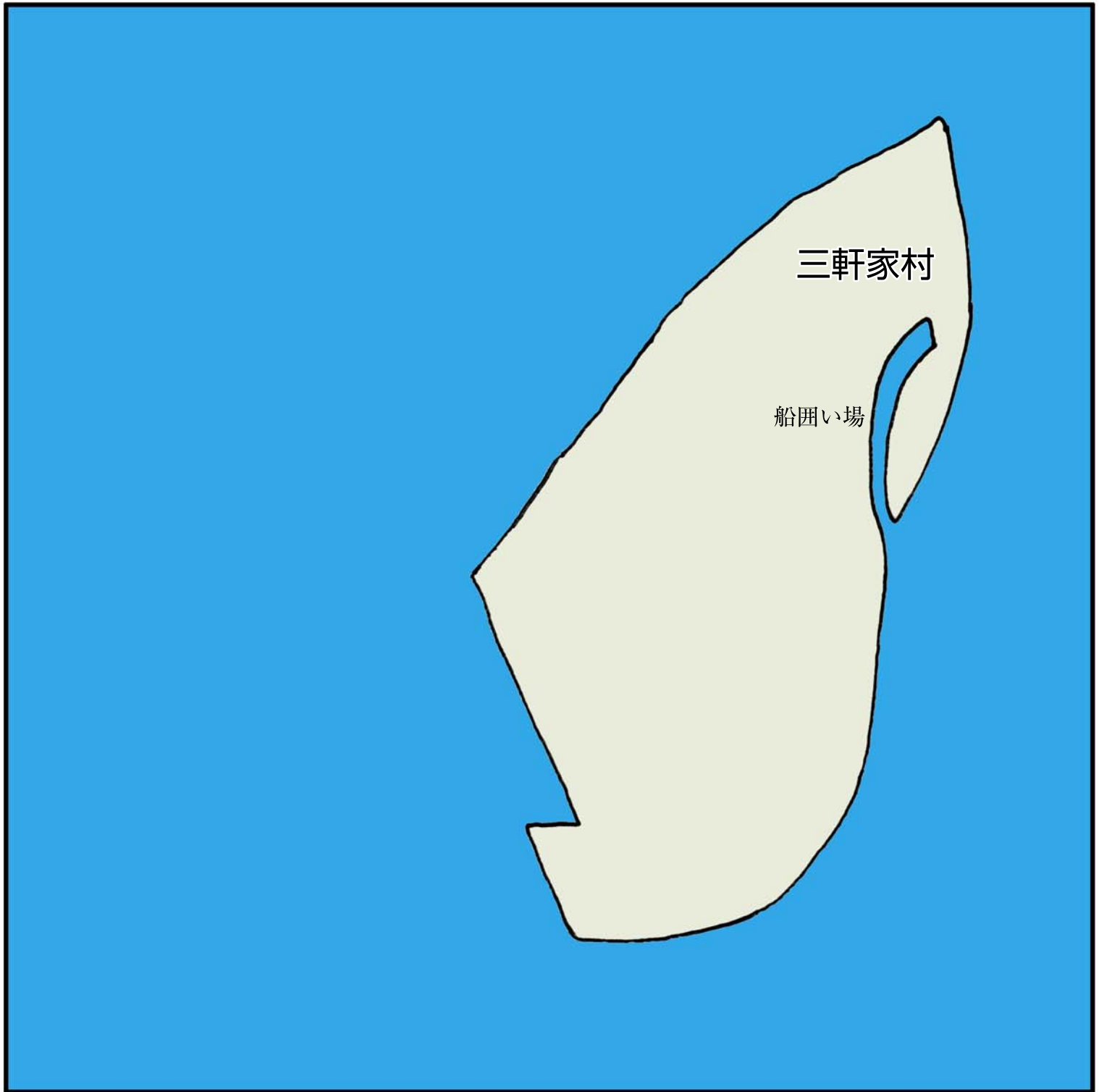
1763~1771年頃 (江戸時代)

宝歴13年 (1763年) 炭屋三郎兵衛、炭屋新田を開発。

明和5年 (1768年) 岡島嘉平次、数回に渡り千島新田を開発。

明和8年 (1771年) 平尾与左衛門、平尾新田を開発。

この頃、木津川口に滞標が立っており、大正区は南に新田開発が進んだ時代。



三軒家村 (西成郡) 1829~1886年頃 (江戸時代~明治時代)

文政12年 (1829年) 岡島嘉平次、南恩加島新田を開発。

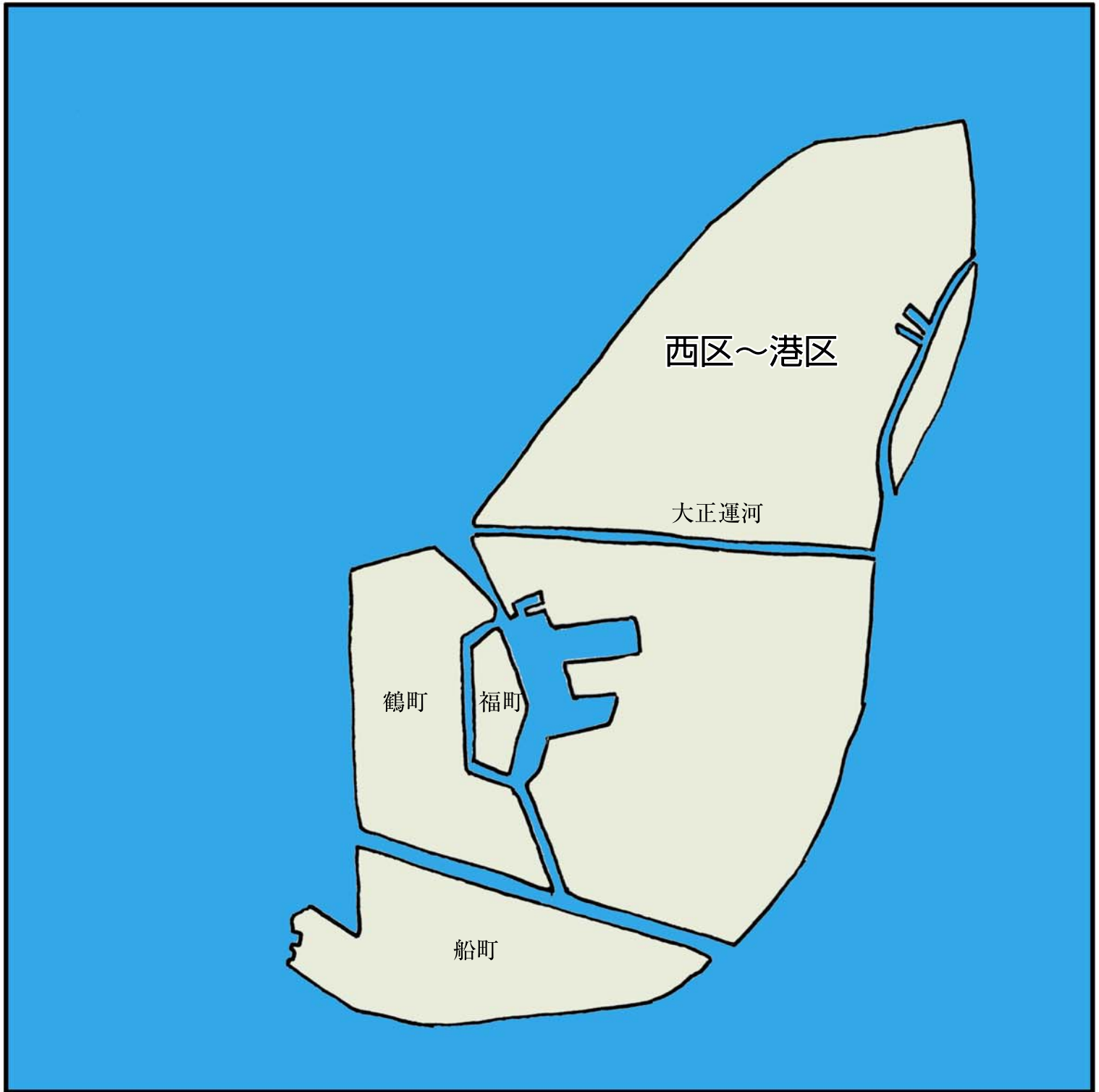
天保2年 (1831年) 岡島嘉平次、北恩加島新田を開発。

天保3年 (1832年) 岡島嘉平次、小林・岡田新田を開発。

弘化2年 (1845年) 岡島嘉平次ら、千歳新田を開発。

明治14年 (1881年) 三軒家に「船囲い場」(178000m²) を開設。

※明治5年 (1872年) に西成郡 第2区 (北部は2番組、南部は4番組) となる。



大阪市 **西区～港区** 1897～1919年頃（明治時代～大正時代）

明治30年（1897年）大阪市編入。西区に属する。

明治38年（1905年）～大正3年に鶴町・福町、

明治38年（1905年）～大正15年に船町を中心に埋立（247万㎡）。

大正8年（1919年）大正運河の開削開始（大正12年完成）。

大正14年（1925年）西区から港区が分区（当区は港区に属す）。



大阪市大正区

1932年～現在（昭和時代～令和時代）

昭和7年（1932年）港区から分区し、大正区が成立（15区制）。

昭和33年（1958年）三軒家川、紡績大橋まで埋立。

昭和34年（1959年）鶴町・福町、盛土完成。

昭和43年（1968年）大正運河の埋立開始（昭和45年終了）。

昭和54年（1979年）大正通の拡幅完了。

4. 参考文献・引用

島の国の島々の街【前編】—海と川と八十島(やそしま)と— [大阪の地名に聞いてみた]

<https://140b.jp/chimei/article/p21>

島の国の島々の街【後編】—人力があれば島力もある— [大阪の地名に聞いてみた]

<https://140b.jp/chimei/article/p22>

戦国時代の大阪(大阪)の地図をフリーソフトだけで作成する方法

<https://raisoku.com/1945>

戦国時代のころの大阪の地図：大阪府岸和田市の整体療術院ビオラ

<http://blog.livedoor.jp/seitaibiora/archives/24995796.html>

大阪湾環境データベース 大阪湾の歴史

http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/intro/detail/rekishi/detail_p07.aspx

大阪府/[治水のあゆみ] 大阪平野の古地図(撰河两国水図)

<https://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/history/hist-oldmap2.html>

デジタルアーカイブに「大阪古地図集成」(24点)を追加搭載しました - 大阪市立図書館

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?key=joysgab5r-510>

大阪市立図書館 資料詳細 | Detail ... 大阪西南部(大阪市立図書館デジタルアーカイブ)

<http://image.oml.city.osaka.lg.jp/archive/detail?cls=map&pkey=06480010>

中世の撰津国大坂周辺の地形について(東大阪に残る昔の川(新開池・深野池)の跡)

https://ike-katsu.blogspot.com/2016/02/blog-post_27.html

中世・近世の大坂 - 大阪市立図書館

https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?page_id=1146

古代の地図と大阪の関係

<http://www.jin.ne.jp/oado/kodainotizu.htm>

「大縄地事件」- 千島土地 アーカイブ・ブログ

<https://blog.goo.ne.jp/chishima-archive/e/6a4e809fc9813a98db1e534b7b654a81>

物部さん考(10) 戦国時代・石山合戦図に見える本願寺・大阪城の前 モノベ式聖地

(ものづくりとことだまの国)

<https://www.zero-position.com/entry/2019/06/15/000531>

大坂の古絵図 大阪町中並村々絵図 - 国立国会図書館デジタルコレクション(デンジソウ)

<http://denjiso.net/?p=23810>

現代の大阪市中心部(北区・中央区・西区など)は昔、海だった(Sunday写楽)

https://sunday-sharaku-tokidoki.blogspot.com/2012/11/blog-post_9.html

大阪の埋め立ての進展とその環境(都市環境デザイン会議関西ブロック)

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/judi/semina/s1212/index.htm#Mosa012>

今度の町あるきは、歴史を発見する楽しみが一杯！（健康づくりの第一歩！ ウォーキングをはじめませんか）

<https://walkgenki.exblog.jp/13903018/>

やすやす鞆物語

<http://kamnavi.jp/utsubo/utsubo1.htm>

大阪陸地の変遷(大阪市住吉区)

<https://www.city.osaka.lg.jp/sumiyoshi/cmsfiles/contents/0000078/78996/1-5-2.pdf>

歴史地理学 about 大阪城、石山本願寺、難波宮 on 上町台地（沖縄の歌姫たちとマイ・ミュージックライフ）

<http://blog.livedoor.jp/ichiro6491/archives/40422859.html>

寛文十年(1670)、大坂を襲った高潮災害（国立情報学研究所）

https://ritsumei.repo.nii.ac.jp/?action=repository_action_common_download&item_id=9363&item_no=1&attribute_id=22&file_no=1

Google Map

<https://www.google.co.jp/maps/>

<古地図・古絵図>

浪花古図 永徳2年(1098年)

浪華往古図 宝歴6年(1756年)

大阪町中並村々絵図

摂州大坂画図 ※1749年頃

石山合戦配陣図(1570-1580年)

大阪安治川口細見

改正 摂州大坂之図 天保7年(1836年)

改正 新版大阪明細全図 明治23年(1890年)

§ あとがき

ももとは私が参加している大正区歴史を語る会の皆さんに調べたことをお伝えすることでした。しかしその途中で娘にどう思う？と見てもらったところ「社会科がこんな授業やったら面白いのに」という言葉をもらいました。

ひょっとしたらこれって勉強が好きになるきっかけになる？そう思いながら居場所づくりの場などで使うのはありかも。といったことを考えるようになりました。

おもしろい→好き→もっと知りたい。こういう流れができることを期待しています。

この冊子をまとめるのに調査で約1か月(ずっと調べていたわけではないですよ)、地図の作製も失敗などで何枚書き直したことが……。協力してくれた皆様にも感謝します。

タイトル： 夢がある！ワクワクする学びの教科書
昔の大坂と大正区ができるまで

発行者： 御手洗 賢秀
発行： 地元ナビ.com
発行年月日： 2023年4月2日 第1.2版
連絡先： info@jimoto-navi.com
印刷所： 自宅のパソコン



メール連絡用QRコード

当冊子内の文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。